

鷺の谷



第 181 号 令和 8 年 4 月 1 日発行

発行者 九品仏地区身近なまちづくり推進協議会広報部会

事務局 九品仏まちづくりセンター

TEL 03-3703-2341

鷺の谷の由来:1600 年代 おくさわしんでんむら 奥沢新田村「鷺の谷」という旧小字の地名がみられる。きゅうこあさ

桜を枯らす特定外来種クビアカツヤカミキリ世田谷区に迫る！
早期発見を目指して、皆様のご協力をお願い致します！

九品仏地区身近なまちづくり推進協議会緑化部会

春の風物詩である桜のお花見が、ここ九品仏地区でも数年後にはできなくなるかもしれないとの話を聞き及び、驚愕しております。

桜の木を瞬く間に枯らす特定外来生物の昆虫のクビアカツヤカミキリ（以下クビアカという。体色は黒く、首が赤い体長約 3cm、カミキリムシの仲間。中国から移入）が日本では 2012 年に愛知県で初めて発見され、都内 11 区を初め、その分布を拡げています。



クビアカツヤカミキリ

■2025 年 4 月、「深沢・桜新町さくらフォーラム」の鈴木豊司様から、「世田谷区にも桜を枯らすクビアカの侵入が早晚予想される」とのご警告を頂き、直ちに九品仏地区身近なまちづくり推進協議会の緑化部会一同 10 名は、まちづくりセンターとも相談の上、クビアカ早期発見を目指して、「九品仏地区クビアカ・桜見回り隊」を立ち上げました。

桜を守る一番大切な対策は、クビアカの早期発見で、その一つの目印は、クビアカの幼虫が 6～9 月に出す茶褐色の糞と木くずの混じった「フラス」です。桜の幹の割れ目や根元に茶褐色のかりんとう状のフラスが見つかれば、クビアカが生息している証拠です。



木の根元のフラス

■地区内の九品仏小学校の桜 3 本、八幡小学校の桜 14 本と傍の民家にある 5 本、浄真寺の桜 21 本を対象とし、各学校と浄真寺から桜をチェックする了解を得ました。

鈴木様のご指導を仰ぎながら、緑化部会で 3 班体制を組み、6 月～9 月（8 月は酷暑のため調査中止）、監視を実施しました。クビアカの活動のピークも終わるということで、9 月 22 日で、2025 年の見回りを終えました。結果、フラスに似た蟻の道は、いくつか見られましたが、幸いなことにクビアカとフラスは発見されませんでした。

■九品仏地区の貴重なサクラを保全するため、私ども緑化部会は今年も 5 月から、「九品仏地区桜見回り隊 2026」をスタートする予定です。桜を愛する皆様におかれましても、ご散歩のついでにお近くの桜のチェックをして頂ければ、幸いです。

■もし、クビアカの成虫やフラスを見つけれられましたら、成虫は殺処分のうえ、当緑化部会（九品仏まちづくりセンター内事務局）にお知らせください。

世田谷区の窓口は、「みどり 33 推進担当部 みどり政策課 電話 03-6432-7904」です。